

令和6年度 第2回旭川市図書館協議会会議録

■日時 令和7年1月21日（火） 午後2時00分から午後3時00分

■場所 旭川市中央図書館 2階 研修室

■出席者（敬称略）

委員長 鈴木 洋伸 副委員長 平泉 美智子
委員 五十嵐 憲子，上田祐二，今井 健晴，
江口 いづみ，加藤 宏明

■図書館

佐藤社会教育部長
登野中央図書館長，岳中央図書館副館長，千葉事務係長，富田奉仕係主査，
川渕奉仕係主査，江尻事務係員

■次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 事
 - （1）令和6年度事業報告について
 - （2）令和6年度図書館イベント実施報告について
 - （3）その他
- 4 閉 会

■提出資料

資料1－1 令和6年度事業実施状況
資料1－2 事業活動内訳
資料2－1 第26回図書館まつりチラシ
資料2－2 第26回図書館まつり各行事参加人数
資料2－3 第26回図書館まつりアンケート集計
資料2－4 図書館開館30周年記念事業ポスター
資料2－5 図書館開館30周年記念事業実施状況
参考資料1 図書館職員名簿
参考資料2 図書館協議会委員名簿
当日配付資料 図書館通信第95・96号，図書館イベントに関する新聞記事

■会議の公開・非公開 全て公開

■傍聴者 なし

■協議内容(要約)

(1) 令和6年度事業報告について

(事務局)

資料1-1及び資料1-2から、令和6年度事業ごとの予算執行状況及び事業実施状況を報告。

(委員)

印刷代やコピー代について、他の団体との連絡はメールであることが多い中、今回の協議会資料についても紙で郵送されています。図書館として、その部分に対する経費の削減等は考えていますか。

(事務局)

全庁的な動きに合わせて、図書館でもペーパーレス化を進めていきたいと考えています。今回の会議では紙資料を送付していますが、委員の皆様には事前に紙と電子どちらを希望するかを確認し、順次ペーパーレス化に移行するなど、今後検討して参りたいと思います。

また、普段の業務の中でも、職員間で使用するような資料などについて、可能な限りペーパーレス化を進めているような状況です。

(委員)

神楽図書館視聴覚資料の購入数について、例年数点の購入がありますが、今回の報告では0点となっていることについて、何か経緯等ありますか。

(事務局)

今回の会議資料については、令和6年10月現在のもので集計をしているため、各資料について下半期に追加購入を予定しております。年度の決算については、来年度の会議の際にご報告できるかと思しますので、その際にご確認をお願いします。

(委員)

図書の購入冊数について、重複していない図書は何冊でしょうか。それが分かれば旭川市に入っている本の全体像が分かるように思います。

(事務局)

重複冊数について集計はしていません。利用者からのニーズが多い本は各館で1冊持つてゐる場合は当然ありますが、そこまでの量はないと考えています。ただ、ベストセラーなど要望が多いもので100件、200件の予約が予想されるものに関しては、各館1冊ずつ購入しています。

(委員)

要望が多いベストセラー本などについて、相当量を購入しないといけない紙媒体ではなく、電子図書館に移行するといった対応は取らないのでしょうか。

(事務局)

紙媒体の本の購入については、市民の要望の様子を見て判断しています。ニーズのあるものについては、電子図書館だけではなく最低でも各館1冊など、要望に応えられるような数は確保したいと考えています。

(委員)

紛失本や未返却本の数はどのぐらいありますか。

(事務局)

各館の曝書の際に統計を取っています。データが手元にないため、すぐにお答えはできませんが、数値として把握はしています。

(委員)

次回以降で構わないため、協議会や統計等に数値を載せてほしい。

(事務局)

検討致します。

(委員)

図書資料について購入の基準があれば教えてほしい。

(事務局)

利用者から希望があるもので、購入後に他の利用者が借りてくれるかなど、ニーズを基準に選定しています。ですが、希望が少なかったり、すでに絶版であったりしても、他の市町村の在庫を調べて貸していただくなど、可能な限りリクエストに応えるようにしています。

(2) 令和6年度図書館イベント実施報告について

(事務局)

令和6年度事業のうち、「図書館まつり」でのイベントや「図書館30周年記念事業」について報告。

(委員)

各イベントについて、参加させてもらいました。

講演会は梯さんと先日の堀川さん、図書館祭りのビブリオバトルの方も参加させていただき、とても興味を惹かれる企画が多くてありがたいなと思いました。私達利用者の知りたいことに答えてくださる図書館としての使命を果たすべく、事業を展開していると感じました。

(委員)

梯さんのイベントについて大変盛況だったようですが、何名について参加をお断りしましたか。

(事務局)

正確な統計はとっておりませんが、相当量の人数がいたと記憶しています。ネット環境がない方もいらっしゃるのではオンラインでの受講はなかなか増えませんでした。

話題の方をお招きすると参加人数の制約など課題がありますので、次回以降はオンラインでの参加環境を整えたいと思っています。

(委員)

私は梯さんのイベントに、参加ができなかったのですが、カウンター前にイベントに関連した書籍の展示があり、興味のあるものについて図書館で借りられますかと聞いたらずぐに貸していただいて、楽しむことができました。

(3) その他

(委員長)

議事のほか、日頃の図書館利用で感じていること、疑問に思うこと、提言等がありましたらご発言ください。

(委員)

私の所属する旭川文庫読書会連絡会は図書館開館当初から関わっていますが、図書館30周年の展示で、当時を知らない人と一緒に振り返る機会をいただきました。ありがとうございました。

(委員)

カウンター前のパネル展示について、例年に比べて身近なものを展示してくれていたように思います。今後も利用者のニーズに合う資料を用意してもらえると役に立つのではないかと考えます。

(委員)

今後のサービス向上に向けて委員の方々がいろいろなお話をされて、こういった活動が図書館の30周年を支えてきたのかなと思いました。自分が音声のコンテンツを利用した際に、耳から入る情報だけだと反芻できないと感ずることがあるため、本を借りてきて目で見る時間も大事だと感ずます。

(委員)

大学の図書館でも予算や保存スペースの減少など必要な資料を保管することが困難になっています。インターネットなどで書誌情報はすぐに集まるものの、現物を手に取ることは難しいため、図書館に行けばすぐ取り寄せられる、すぐ見ることができる、関連するものを目で追いながら探ることができるというのは、すごく大事な読書体験だろうと思います。今後充実していただければ個人的にも助かります。

(委員)

図書館の協力があって本の会の活動ができていると思っており、本当にありがたく思っています。

図書館まつりで販売されたトートバッグについて、購入された方から「ロゴがほしかった」という意見をもらいましたが、すごく評判は良いです。図書館まつりではとても楽しい時間を過ごすことができました。今年も活動を頑張っていこうと思っています。

(委員)

私は「図書館は人である」という考えから、これまで協議会の中で会計年度任用職員の待遇について発言してきました。この協議会で取り上げられれば、記録に残り、今後の改善に資すると思うからです。

先日、11月12日の「あさひかわ新聞・議会見たまま」から2023年度決算審査特別委員会分科会の報告として、「人員が増えない中図書館業務は増加」という見出しで江川彩市議員の質問とそれに対する登野館長さんの答弁がありました。その内容は、「図書館の開館業務時間に対する勤務体制が時間差にならざるを得ず、また必要最低限の人員体制で休みが出たときの体制維持に苦慮している」というものでした。

図書館まつりのビブリオバトルの観覧に参加させていただいて喜んでいたんですが、職員の方々がそんなに厳しい労働環境にあるということは理解していませんでした。申し訳ないことです。

図書館の利用者に対するサービスは広くて、宅配や電子書籍のサービス業務が増加しているかと思います。

私は図書館が好きで、利用させていただいて感謝しています。他の利用者の方々もそうだと思うのですが、「図書館が好きである」人たちは、実際に図書館職員の方々に支えていただき、親切に対応していただいているから、図書館に行こうと思うのです。

今後の要望として、正職員・会計年度任用職員問わず、人員にいくらかの余裕を見て配置をしていただきたい。具合が悪いときに休んでも体制がパンクしないように人員に余裕を見て配置をお願いしたいと思っています。

また、利用者さんに関しての情報共有や、職員間での技術の伝達等を行える時間を勤務時間内に確保してほしい。時間のゆとりを職員の皆さんに少し持っていただければ、利用者さんに対してよりいっそう優しく対応していただけるんじゃないかと思います。

ビブリオバトルについて司書側から参加してくださった方たちは、進行を担当された方を含めて、発表のためにおそらく時間外の勤務をされて準備されたと思います。図書館で働く職員さんたちを大事にして、現場で次への後継者を育てていただけるように心からお願いしたいと思います。

(委員長)

私は長年国語教師を務めてきたということで、推薦をいただいてこの場に居させてもらっているのですが、会議の様子や皆様の意見を聞かせていただいて、図書館運営について非常に無知だった自分を反省するとともに、改めて学校と図書館の連携の重要性を実感しました。